婦人と新社會

山田わか主筆

八月號

彼我の比較

戀愛と親たるの責任

私娼化しようとする米婦人

立ち上がつて戰ひませう

明日の新聞

世界的になつた
家族制度的傾向

購買者の愛國心
と生産者の至誠

昭和五年八月一日發行　第百貳拾五號　毎月一回一日發行

東京 婦人と新社會 發行

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

彼我の比較

我々日本人は何故に西洋を崇拜したでせう。それは我々日本人よりも西洋人の方が萬事に優れてゐると考へたからです。

けれども、我が國の哲學文學藝術其の他あらゆる知力の生産物は決して西洋のものに劣ってはゐない。

藝術の如きはむしろ我が國にホーマー式の質朴さが多分に含まれてゐるし、現代西洋の作品に優るとも劣らぬものがある。

我が國特有の工業美術の如き、到底彼等の追從を許さない。

これを實例に徴して見るならば、たとへば、獨、佛、英の如き、我が國の生産物を模倣して我が國の市場を奪はふとしてゐる。

そんならば、西洋はどの點に於て我が國に優ってゐるかと云ふと、それは科學に立脚した産業文明であらうと思ふ。

が、それもこちらはあちらよりも唯規模が小さいと云ふことに過ぎない。

そんならば、今日の我が日本は決して西洋を模倣する必要はない。

たゞ、我が國固有のものにより廣い知識とより深い經驗とより濃厚な至誠を打ちこむならば、我が海外貿易は他國に壓せられるわけはない。

我が國民がこの點に氣付きさへすれば、ドイツの勤勉も、フランスの藝術も英國の常識も規模廣大なるアメリカも恐るゝに足りない。一般指導者が此の點に一日も早く氣付くことを望みます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戀愛と親たるの責任

此の人生に於て、幸福は目的であり、直ちに手段である。が、他人の幸福を目的とする慈善事業はそうではない。慈善事業、或は、社會事業は、もし、それが丁度基督教的慈善事業のように單に他人のために爲されるなら失敗するであろう。他人を滿足させるとか或は他人を幸福にするには自分自身の要求を通してする外に道はない。何故なら、人は他人を幸福にするとか又は他人を滿足させる條件に付いては如何なることでも自己の要求を通して知り得るからである。自己の幸福に無頓着な社會的改革家は丁度盲人の指導者になるのと同じである。

義務としての幸福と云ふことは一ッの概念である。そして、その幸福と戀愛との關係は、もう一つの健康と云ふ幸福の偉大な價値と比較する時に說明ができる。中世期に於て、人々が肉體を衰弱せしむる爲に絕食したり、不潔にしたり又は殊更に苦しめたりした時、或ひは又疫病を神罰と認め鞭打ちの洗禮をもつてその平癒を祈つた時には、彼等は今日の我々が持つてゐるような衞生觀念を微塵も持つてゐなかつた。

が、健康が神の意志であると認められるようになつた時に、個人は健康を增進することが自己の義務であると考へた。そして、地上の生命が善良なるものであると認められるようになつた時に社會は科學を健康の法則に應用し、病氣を癒し、生命を延長せしむることを義務と考へた。健康は追々と健康そのもの丶目的となり、幸福はそれが外の目的の爲に有益であろうが無かろうが幸福そのもの丶爲に努力するものは正しいものとされて居る。

それにも拘らず、今日に於てすら、なほ、病人がある。その人達の精神生活は自分達の肉體の病氣を益々重くするような原因を造つてゐる。又、自分達の健康を增進させようとする意志はあつても却つて健康を失ひつ丶あるような不幸な人達もある。或ひは、又、自己の健康にばかり餘りに注意を拂い過ぎるような身勝手な人達もあり、その反對に、或る目的のために自己の健康を犧牲に供することを高尙と考へるような寛大な人達もある。併し、それ等の凡てが一般の法則を害しはしない。何故なら各人は自己の健康を自己に對し又社會に對して直接大きな價値あるものと認めそして扱ふのであつて、單に、他人の爲にばかりでなく、自分自身の爲に健康から來る幸福に對して努力するのは自己の義務であると同時に權利であると考へるのであるから。云ひかへれば、中世紀の全

體の概念はこの場合に於ては完全に覆へされてゐるのである。

來るべき時代は、丁度、中世紀の健康に對する概念のやうに、今尙矛盾のうちにある現今の戀愛に對する概念を覆へすであろう。この價値の逆轉と變化は今私が健康に關して述べたような狀態を矢張り戀愛に於て現はすであらう。併しながら、各人が自己の戀愛を自己並びに社會に對する大きな價値あるものと認め、そして、扱ひ、戀愛から來る幸福のために努力することは自己の義務であり權利であると云ふことを認めなければならないと云ふ大きな原則がまだ殘つて居る。

× × ×

禁慾的人生觀に於ては、上述のような見解は自然である。併し、人生の目的は人生そのものであると考へる人に取つては精神的要求に對する同じ尊敬の念を肉體的要求に對して感ずる。さう云ふ考への人々は肉慾的情熱が不道德であると同じやうに禁慾主義が不道德であることを知つて居る。禁慾主義は不道德である。なぜなら禁慾主義は人類にも個人にも何物をも與へないから。さう云ふ人は又、法律上の結婚をしない二人の男女が子供に生命を與へた時自然はその子供にすばらしい天賦の力を授けて『情熱』に報ゆることを知つて居る。自然は、責任感などが到底仕遂げ得られないも

のをこの「情熱」と云ふ性質を通して神秘な目的に向ひ進みつゝあるように思へる。

故に、最も重要なものは、我々が徹底的に自然を學び知つた後に權利の概念を自然と調和させることである。明かに自然に反した道徳的觀念の爲に無條件に自然を壓迫するのは不必要なことである。實に、戀愛をより高尚にするには戀愛と親たるの責任とを自制に結び付けることである。戀愛と親たるの責任とが兩性關係の唯一の條件となつた時にその結果として相對關係が生れる。

この理由のために、青年達は戀愛に於ては更に大きな要求を持ち、親としての權利に對しては更に高い概念を持つように敎へられねばならない。凡ゆる關係に於て眞の戀愛と健實な親たるものゝ一條件として自制と云ふことが敎へられねばならない。けれども、戀愛に於ける完全な幸福が個人の精神の發達に、又、廣くは社會の發達に資する時には自制と云ふことを說いてはならない。

（エレンケー）

私娼化しようとする米婦人

女尊男卑の米國の婦人が、持たされてゐる其の勢力を惡る〴〵利用して、虚榮と强慾に沒頭し、そして、自己のその虚榮と强慾のために働かせるものが男である。要するに男とは女に奉仕する奴隷であるかのように考へてゐると云ふことは、世界周知の事實です。

勿論、米國の婦人は一人殘らずさうだとは申ません。中には本當に淑德の高い婦人もあるのですが、併し、虚榮と强慾のかたまりと云ふのが先づ米國婦人の特長であり、米國婦人の精神であります。

それは、丁度、我が日本に於ても、非常にとつぴな風がはりな女が時々現れるけれども、併し、我が日本婦人の確立した精神は貞淑であると云ふのと同じです。

如何に男性が女性を、もつと具體的に云ふなら、如何に妻が夫を虐使するか、又、夫は如何に妻の觀心を買ふために汲々としてゐて、そして、益々妻を增長せしめてゐるかと云ふことの實例を一ッ此處に上げて見ませう。

×

バルチモーア市、ジョンス・ホップキンス大學、醫學部、精神科の敎授の子息は有名な齒科醫ですが、併し、もと〴〵學者の家ですから金はありません。緣あつて迎へた嫁は同市のウイスキー製造會社々長なる富豪の長女でありました。

米國の富豪の長女、さう聞いたゞけでも、如

何に贅澤の限りを盡す習慣がついてゐるかゞ分ります。彼女を妻とした齒科醫が最も苦痛とすることは、自分に金がないと云ふことを妻に知られることでした。で、有る振りをしようとして、幾何かの金を工夫し、甲の銀行に預ける。暫くしてから甲の銀行から引き出して乙の銀行に預ける。又、暫くしてから乙の銀行から引き出して丙の銀行に預ける。かくして、甲、乙、丙と凡ての銀行に預金してあるように妻に見せかけてゐました。

　夫にはいくらでも金があるように思ひこんでゐる妻は安心して大勢の雇人を使用し、芝居に衣裳に享樂の限りを盡し、芝居は毎夜のようでした。

　併し、夫は氣が氣でない。ツイに神經衰弱に陷り、不眠症に襲はれました。そして、睡眠劑を常用するようになつた。非常に美男子である此の夫がいつまでも寐室にゐることを妻は喜びました。そして、アタフタと無茶苦茶に睡眠劑を與へるので、いよ〳〵益々夫の健康は害はれて行き、彼の生命は風前のともしびと云ふ處まで、突き進んで行きました。

　そして、これが米國の夫婦關係の代表的なものであります。

×

　女は男に愛され、尊敬されるものと極めてゐる米國婦人は自分勝手な要求をする。そして、男は妻の要求に應ずるために最大限度の努力をする。それでも足りない時に、何とかして餘分の金を儲けようとして、それが詐欺的行爲となつたり、賭博となつたりします。

　何のために、妻はさうまでして夫に金を儲けさせるかと云ふと、其の目的は流行に後れない

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

衣服をまとひ、ほう玉を身につけて他の女性に見せびらかさうとするだけです。そして、其の見せびらかす場所は勿論多くの男女のあつまる處、夜會、劇場、音樂會及び其の他の會合です。

寄附金の多くあつまる處は米國だとは定評でありますが、それは、婦人達が美服や寶玉を他人に見せびらかすと同じ氣持ちで寄附金を奮發するからです。婦人達の此の心理がいつも寄附金の募集を成功させてゐます。そしてそれだけ夫を苦しめてゐます。

中流の大抵の家庭の妻は朝夫と一緒に食事をしない。夫は一人淋しく給仕を相手に食事をしてそれ〲の自分の職務のある處へ出て行く。その頃まだ床の中に寐そべつてゐる妻は、九時半か十時頃にベルを鳴らして小間使に床の上へ朝食を運ばせる。

それから、やはり床の中から呉服屋だの仕立屋だの、晩の劇場だの、その外、その日のプログラムに付て必要な用件で電話をかける。それがすむと、お化粧が始まる。

輕い晝飯が終ると盛裝して客を待つか、さもなければ、他家の訪問又は買物に出かける。

芝居に行く妻の手を取り、ニコヤカな顏して車にたすけ乘せ、手をあげておあいそよく妻を送り出し、こちらを向いた時其の夫のむづかしいシカメ顏を見て、私は、つく〲米國男子の憐れさを感じたことがあります。

×

米國に女尊男卑の風習が確立したに付てはいろ〲の理由があるとしても、其の最初のそして最も大きな理由の一ツは所謂ピルグリムなるものがニューイングランドに到着した當時にあります。その頃は本當に女性の數が少なかつ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た。故に、男子は婦人を天使のように尊敬し、愛し、保護し、地にも置かないように大切にしました。そして、その風習はロングフエローの詩的小說マイルス・スタンデッシに於て後世に傳へられてあります。

　マイルス・スタンデッシは軍人として行政官として立派な人物でした。あの有名なメーフラワーと云ふ船で米國へ移住した時にはローザと云ふ妻を伴つてゐました。が、米大陸へ上陸後最初に死んだ人が彼女でありました。スタンデッシは淋しかつた。で、彼は自分の話相手とし又、書記として、ジョン・アラデンと云ふ青年を手許へ置いた。

　その當時、その植民地にプリシラと云ふ娘があつて、いつの間にかスタンデッシは其の娘を戀するようになつた。けれども、彼は非常に勇かんな人であるにも拘らず彼女に愛を求めに行く勇氣を缺いてゐました。思案の末、彼はアラデンを使者として結婚の申込みをしました。

　再三再四アラデンを戀の使ひに送つてゐるうちに、以外にもプリシラはアラデンを愛するようになつてしまつた。非常に立腹したスタンデッシは一時はアラデンを手打ちにしようと決心しました。

　けれども、さすが彼は人格者です。手打ちにすることを思ひとゞまつたばかりでなく、自己を犧牲とし、自ら進んで、プリシラとアラデンの媒介者となり、目出度結婚式を擧げさせ、新夫婦の平和な生活を見るのを自分の樂しみとした……と云ふ女性の意志を尊重したロングフエローの筆になる物語です。

　スタンデッシも非凡であるし、又、プリシラも權力に於て金力に於てあたりを風靡してゐた大

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

人物マイルス・スタンデッシに見染められながら、そして、自身の榮達は思ふまゝなる其の求婚を排して、その使者、富も名譽もない一介の書生アラデンを選んだと云ふことは、女性の威嚴を遺憾なく發揮したものです。

米國の女尊男卑の風習は此の頃に確立したものです。今の米國婦人が男子から尊敬されるのは其の頃の婦人の餘德を蒙つてゐるのです。即ち、女神のような婦人の愛と美に浴して人となつた米國男子は、婦人を尊敬することを其の本能の一つとしてしまつたのです。

が、今の米國婦人は男子から尊敬され愛されることをいゝことゝし、我がまゝの限りを盡すばかりでなく、有產婦人のうちには黃金の光りなどは珍らしくなくなつたので、首飾りでも買ふような心持ちで爵位を求め、歐洲の貧乏貴族を夫にしようとして頻りにさう云ふ男を探したりします。

×

米國人は文學及び藝術を解さないと歐洲人は見くびつてゐます。故に、それに付ては面白い話があります。

伊太利の名女優ジユースが米國へ行く契約をした時に、伊太利の俳優仲間は非常に憤慨してあんな藝術を解さない俗惡な國に行くなら我々の仲間から排斥すると云ふ決議をしました。それにも拘らず渡米してダヌンチオのものを演じたのでしたが、併し、反對運動が烈しかつたゝめに同女優は米國では大失敗でした。

あの有名なオペラ『田舍騎士』の作者マスカゲニーも、やはり、ジユースと同じ運命をたどり、伊太利の音樂界からほうり出されてしまいました。

世界的藝術家をしてさう云ふ反感を持たせる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

と云ふのは、米國人は名家であれ學者であれ藝術家であれ、金さへ出せば自由になると考へ、露骨に其れを實行しようとするからです。

　ハワイは一八九三年に米國の屬國になつたのですが、リリウカラニ女王は時の米大統領クリーブランド氏にハワイ王國の復活を懇請に行きました。

　共和黨の大統領ハリソン氏のために凡ての芝居が仕組まれて、とう／＼ハワイ王國は倒れたが、丁度、その後に大統領の改選があつて、クリーブランド氏が選まれたので、リリウカラニ女王は氏の正義に訴へてハワイ王國を復活させて貰はふとしたのでした。

　勿論、女王の希望は容れられなかつたのですが、米國人がどう云ふ風に此の遠來の客を遇したかと云ふと、女王が桑港のパリスホテルに入るや否や、金儲けと云ふことの外は何にも考へてゐない米國の興行師は直ぐに女王を訪ねて、莫大な金を提供するから女王に舞臺に出て呉れと頼みました。「何にもしなくていゝ。何にも云はなくていゝ。唯舞臺に坐つて居ればいゝ」と。たとへ、小さくとも、一國の浮沈に關し憂慮のあまり渡米して來た國賓に向つて「金をやるから見世物になれ」と云ふことは何たる非常識、何たる無禮、何たる殘忍であるでせう。

　そして、これが現代米國人の氣質の現れであります。

×

　長い間男女關係のキレイな國は米國だと云ふのが定評でありました。そして、それは女性を天使のように思ひ、又、事實に於て、天使のようであつた時代の習慣が繼續してゐた間のことです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その風習が濃厚であつた間に於てこそ、もし、公職にある人が花柳界に足を入れた事實が發見されるならば、その人は一枚の端書の勸告狀で其の職を辭さなければならなかつた。又、どんな大新聞でも、もし、紙上に、猥褻な文字が一字でも使つてあれば、それは良家に入る價値なしとして直ちに配達をこばまれたものでした。

けれども、今は、素晴らしい勢ひをもつた物慾主義と愛慾主義が、建國當時の美しい理想を投げ捨てゝ、好きな異性があれば、あくまでも金で買はふとする。

男にのみ聞かせる講演とか、女にのみ聞かせる講演とか云ふ文字を大々的に新聞紙上に廣告する。まるで、婦人科病院の治療室を街頭にさらすかのような觀のある著書は續々出版されます。

×

米國が生んだ、そして、米國の文學を世界に認させた文豪は"Young America"と米國を稱して其の生氣の溢れる未來のある生命を誇つてゐます。

故に、米國婦人は物質の光りに眩惑された目を拭ひ、愛慾にたゞれた心を滌掃し、世界平和のため、人類の幸福を增進するため、その建國の美しい精神、卽ち、星の光りを再び輝やかすように、今や、心の立直しをする必要があります。

そして、その實行の第一步は、私娼を法律化しようとする友愛結婚を排し、奴隷的位置から夫を解放することであります。

立ちあ上がつて戰ひませう

加藤ひさ

「立ち上つて戰はう」之れがドイツ國民の精神であるらしい。

「立ち上つてそして戰はう」實に血を踊らせる言葉ではある。私共日本人は立ち上つてそして戰ひませう！　何を相手に？　外國と？　否、この貧乏と、この生活難と!!

美はしい太陽の光りは、隣家へ訪れる時必ず自分の家へも訪づれる。雨が隣りの屋上に降る時は必ず自家の屋上にも降つて居る。天は一人の人にのみ幸も不幸も與へない。斯ふ云ふ公平無二の天が下で暮す我々が何故に苦しんだり歎いたりする必要があるのであらう。

特に人間が感じる悲しみ、怒り、又は、苦しみは人間自身が取り除かなければ取り除いて與れるものはない。どうして其れ等を取り除き得やう？　只美しい行爲に依てのみではなからうか。美しき行爲と醜き行爲とを別言すれば前者は手前勝手な行爲でなく後者は手前勝手な行爲であると云ふ事になる。私自身のやうに大した手前勝手でもなく又大した手前勝手でなくもないやうな人間は要するに自己の生活を守つて居ると云ふに過ぎないから敢て他人樣に迷惑もかけないが又敢て他人樣に恩惠も與へない。斯ふ云ふ人間は世の中にあつてもなくてもよい、つまりあつても大した害もなさないがなくても更に不都合はない。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

斯ふ考へて來る時に實に自己の生活の無意義さを知り生きると云ふことに疑問さへも起させる。とは云へ若し自分自身のやうな人間の大多數に依て社會が成り立つて居るとしたら大問題である。何故なら單に生活して居ることに滿足して居る事は只それだけであつて何物も生み出さない。其處に物足らなさがあるのではなからうか。

容貌も立派でありスタイルも最新流行で一寸の隙も見せない人を見ることは不愉快なものではない。併しジッと見詰めて居ると何か其人に物足らなさを感じる。何がであらう？　それは力である。

人間はひどく貧乏して相當意地があると何んとかして人並の生活が出來る迄に漕ぎつける、けれども人並のレベルに、云ひ換へれば食ふに困らなくなるとその漕ぎ付けた岸にどつしり腰をおろして仕舞ふ。つまりどん底の貧乏から人並のレベルに漕ぎつける迄は自己の力を充分に發起させて居るから身成りは整つて居なくても其人から物足りなさを感じさせられない。けれども一度び向ふ河岸に着いた時はぐつと力がゆるんで來る。

一國の盛衰は斯ふ云ふ意地をもつ人達の向河岸に漕ぎ着けた其後の行動に依るのであるまいか。一骨折つた上句一休みするのは結構に違ひない。併し骨を休めつぱなしにして置くから問題ではなからうか。自分が食ふに困らなくなつて其れで一生を終ると云ふ事は只自分が生れて來たから自分の食物をあさつて食べて死んだのに過ぎず社會的に何の意義をもなさない（勿論種族繼續と云ふことは別問題として）。人間として社會人としての仕事はこれから始められなければならない。人間を樂にする爲に造られた機

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

械が人間を苦しめて居る矛盾の世の中でこの矛盾を取り除く物は人間の力以外に何物もない。昔はどん底の貧乏から人間並のレベルに這ひ上るに意志さへ強くあれば比較的樂であつた。併し今の機械發達の世の中では如何に意志が強くても永久にどん底に落ちたまゝで過ごさねばならない大多數がある。そう云ふ人達を救ひ上げるには今迄に向河岸に漕ぎ付き得た人達の力をもつて引き寄せるより仕方がない。

『地獄極樂はこの世にあり』ではなく地獄極樂は自己にある。自己が食べ自己が着て餘れば與へやうとし、知識の餘りがあれば廣く人に知らしめやうとする其處に人間らしさがあり力強さがある。親であれ、つれあいであれ、子供であれ何時も人と相對して生活して居る人間はその相手に助けられやうとする代り助けやう助けやうとする精神さへあれば例へ相手が瞬間に死ぬやうなことがあつても決してうろたへない。併し相手に助けられやうとし相手に依つて自己を左右し、相手に全生命を托して居る人は相手が死ぬと全く魂のヌケガラとなるから一人死んだ事が二人死んだことになる。そして、呼吸をして居るヌケガラは只世の中の邪魔物に過ぎない。

國家の爲又は世界人類愛の爲に戰はふとするには相手に依つて生きてはならない。自己を確立させ充實させて置かねばならない。その用意さへあれば如何なる天災地變が來やうとも如何なる家庭的悲劇が突發しやうともピクともしない。何故なら常に與へられることに心を用ゐる代りに與へることに力を用ゐて居るのであるから。與へる對手は大抵の場所に無數にある。

相手に依て生活する者は相手が倒れた時に魂のヌケガラとなる。併し自己を確立させ充實さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せて居る者には生活の相手の倒れた時いよ〳〵その光りを現し如何にも人間の力強さを思はせる

立つて働きませう！　立ち上つて戰ひませう

この力を以て！　この力が國に充滿した時には貧乏や生活難は萎縮せずにはゐない。

明日の新聞

今日の我々は過去を振りかへつて見ると云ふ餘裕を與へられず、たゞ、前ばかり見て突進せしめられてゐる。疑ひや好き嫌ひの目を持つて凡ての變化を見ると云ふよりは、むしろ、あらゆる變化を甘受せしめられてゐると云ふのが今の我々の時代です。

云ひかへれば知力の地平線がぐん〳〵廣がりつゝあるので考へたり振りかへつたりするいとまを持たされないと云ふようなかたちです。

□

普通教育、政治的の自由、民衆の新聞、無數の發明と發見、急速度の運搬通信、かう云ふものが我我の考へ方や趣味を急速度に變へつゝあります。そして、或意味に於ては、この考へ方と趣味の變化が文明であるとも云へます。

そこで、我々の進歩を記錄したり整理したりする使命を帶びてゐる新聞も、急速度の發展の時代を通過してゐるので、過去の新聞を取り出して見るなら、その時代々々の精神を可なり正確に寫してゐます。各時代の精神は其の時代の新聞を見れば其處に十分に現れてゐます。そして、今後、何より大なる變化を受けようとしてゐます。

□

新聞の第一の目的は最も新らしいものを報道することであるから新聞は、人間社會を形成してゐる諸制度

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のうちで、最も敏感なものでありませう。

そして、毎日々々の發明及び發見を新聞事業は取り入れ利用するので、その技術に於ては實に文字通り日進月歩の發達ぶりです。

が、新聞の形式及び技術に大なる進歩があり、此の方面が改良されゝばされる程、新聞たるの勢力を失ひつゝあると云ふことは注目に値します。

□

本當の勢力を持つ新聞とは、所謂國民の木鐸となり國民の眞の輿論を代表し、安全な港へ國民を導く舵であります。

處で、大資本により最新技術を應用した所謂大新聞に新聞たるの勢力を失ひつゝあると云ふ事實は大いに考ふべきことです。

□

今日の新聞も明日の新聞も要するに其の形式に於て大差ないでせう。

變化するだけはしてしまつたと云ふ觀があります。で、今後、變化がありとすれば、又、なければならない點は、新聞人其の者の性質の變化です。

精神の異なつた持主及び記者によつてのみ、明日の有意義な新聞は造られて行かればならぬものと信じられます。

世界的になつた家族制度的傾向

現代の進歩は實に著るしいものであると云ふことは誰でもが認めてゐる事實です。

この二十世紀は、人間が始めて空中を飛ぶことをおぼえ世界の何處とでも無線で話をすることをおぼえた驚くべき世紀として、此の文明が續く限り永久に祝福されるでありませう。

云ひかへれば、現代は物理學の範圍に於て非常な勝利を得たのですが、併しそれと殆ど同じやうに社會科

學も進歩してゐます。

□

大きな根本的社會變化は、應用物理學の進歩の範圍よりも一層大きなものであるかも知れません。

たとへば、母性保護法制定の要求とか、母子扶助法運動とか、此の嬰兒の幸福に關する研究なり又運動なりは實に最近の發達であつて、これは人類が今日まで働いたものゝうちで最大なる功績でありませう。

そして、この子供の幸福に關する問題は家族制度的傾向が世界的になつたことの證據です。

□

社會主義的傾向を持つた人のうちには、最近の此の運動は保守主義の復活だとして排斥しようとする人もあるけれども、併し、決してさうではない。

要するに、これは國家が其の責任を根本的に果さうとする基礎的仕事であります。

□

國際的勞働會議の規約の一つに、「勞働に商品に非ず」と云ふ一條項があり、これによつて勞働者が勞働

と人格を一致させる基礎が成つたと同じ意味で、母性保護法乃至扶助法が成立すれば、育兒の仕事が國家にとつて人類社會にとつて、如何に重要であるかと云ふことが國民に徹底します。

□

勞働が商品として扱はれてゐる間は勞働者の人格の向上が難しいけれども、勞働は商品に非ずと確定されて、勞働者に人としての誇りが出來、威嚴も備はる。

育兒の仕事は斷じて家庭奴隷――女權主義者の云ふやうに――に非ずと云ふ精神が確立し、國家がこれを保護することによつて始めて子供の幸福は保證され、人類の進歩は其の軌道に乘つたことになるのです。

購買者の愛國心と生産者の至誠

今や官民擧げて國産品愛用奬勵に狂奔のかたちですが、實際、あらゆる方面から考察して、今日の此の經濟難局からの脱出は國産の振興であり、そして、國産

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の振興は國産品を愛用するのであると云ふことに付ては議論の餘地はありません。

我が國が輸入超過に苦しんでゐたのは久しい。そして、これは一つにかゝつて我が國民の外國品崇拜の結果であります。

明治維新以後急に歐米の物質文明が輸入された當時こそ舶來品は優良であつたに相違ないし、今日に於ても、外國産の方が優良である場合があるに相違ないけれども立派な國産でありながら、レッテルに英語を使つて外國品であるやうに見せかけるなど、實に、購買者の外國品に對する迷信に迎合しようとするもので、これは全く恥づべき非國民的態度であります。

で、今日の此の經濟難局脱出の爲の國産品愛用はやはり國民の愛國心によらなければなりません。

國産品を愛用しなければ國の經濟が保たないと云ふ處を深く意識して、たとへ多少の不滿足はあつても國のためだから我慢しようと云ふ位の氣持ちにならなければ國産愛用は徹底しません。

處で購買者側にさういふ氣分が勃興したのをいゝことゝして工業家及び企業家が、自家のふところを肥やすやうな態度になつたならば、これは由々しき大事です。

一體、私は國産愛用運動は工業家及び企業家が爲すべきであると考へます。外國品に劣らない物品を産出して國民の外國品に對する迷信を打破するに努むべきです。

外國品尊重の氣持ちが我が國民のうちに確立した理由はもと〳〵國産品よりも其の方が優良であつた。そしてより優良であつた理由は其の物品に至誠と經驗がより豐富に含まれてあつたからです。

故に、我が工業家及び企業家が此の點に極力留意されることを私は望みます。

外國品に負けない至誠と知識と經驗とを打ち込んだ産物を市場に出して貰はなければならない。

工業家及び企業家の其の誠意と國産品を使はなければならないと云ふ購買者の愛國心が合流しなければ、今日の此の經濟困難の濁流は到底乘り切ることは出來ない。

本誌定價表（臨時）		
一册	金十錢	送料五厘
六册	前金五十五錢	（送料共）
十二册	前金壹圓	（送料共）

昭和五年七月廿三日印刷納本
昭和五年八月一日發行

東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區岩松町五四
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN